

8-4-35 マネジメントシステム委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の運営方針

「システム改善」「環境配慮」「PFI」「PM」「アセットマネジメント（以下、「AM」と記す）」の5つの専門委員会により、広くマネジメントの実効性向上と普及拡大を目指し、管理、業務の両面から活動を進めた。

委員会の活動目的は次の5点に関連する調査・研究および広報とした。

- ① マネジメントシステムの実効性向上
- ② サステナビリティ経営の推進
- ③ PFI/PPP 市場拡大・啓発活動の取り組み
- ④ CM/PM 関連技術の向上・周知とマネジメント領域の拡大への取り組み
- ⑤ AM の社会実装への取り組み

(2) 委員会の開催

委員会は10回開催した。

(3) 白書、要望と提案など

「建設コンサルタント白書」で複数パートを執筆し、「要望と提案（生産性向上と品質向上に資する新たな事業推進形態の拡大と制度改善）」へ事業監理業務の仕組みの普及等の資料を提供した。

(4) マネジメントセミナーの開催

集合方式とオンラインを併用したセミナーを開催した。

- a) 開催日：令和7年10月3日（金）
- b) 配信場所：赤坂インターシティコンファレンス
- c) 集合会場からの高品位なライブ配信など

セミナー実施内容は、「建設コンサルタントとマネジメント」「PPP/PFI の政策動向と事例紹介」「CM方式の更なる普及に向けて」「サステナビリティ経営の実践に向けて」「マネジメントシステムの効果的運用に向けて」及び「AMの社会実装に向けて」の全6講で、会員参加は408社1,332名、発注者は43名と合計1,375名の参加をいただいた。アンケート調査結果によれば、各セッションとも高い評価を得て、「非

常に役立つ」「役に立つ」の回答が95～99%、また今後の継続開催の要望は99%であった。

(5) 外部情報の収集及び情報発信など

外部情報の収集は、システム改善が会員企業でのQMS運用に関して、AM専門委員会が国民のAMの意識に関して、それぞれアンケート調査等を実施した。またPFIが内閣府や異業種と、PMが鉄道・運輸機構及び日本CM協会関西支部と、それぞれ意見交換を実施した。

情報発信は、PFIがJR北広島駅西口周辺エリア活性化事業への現地視察から地方創生のあり方等に関する報告書を、AM専門委員会がAM先進事例集を、それぞれ作成して協会ホームページへ掲載した。また、AM専門委員会が社会インフラテック2025展にて国民等へ昨年度策定した提言書について広報を実施した。

(6) 各専門委員会でのセミナー、勉強会の実施

11月に「建設マネジメント（PM）」、1月に「マネジメントシステム内部監査と生成AIによる有効性向上（システム改善）」、「サステナビリティ経営の基本と実践（環境配慮）」、3月に「イギリス・スコットランドにおけるHubモデルの日本へ適用可能性（PFI）」と題するセミナー等を開催した。

また、AM専門委員会は北海道支部、九州支部と連携した「自治体支援セミナー」をインフラメンテナンス国民会議と共催により開催した。

(7) 内閣府PFI/PPP専門家派遣

PFI専門委員会では、11件の内閣府専門家派遣（昨年度20件）に対応した。

(8) その他の活動

未来塾対応WGの下で事業促進PPPワーキングを国と開催した。また、インフラメンテナンス国民会議、土木学会ISO対応特別委員会に参加する他、JAAMの活動にも協力している。

2. 次年度の活動について

引き続き、それぞれの専門委員会活動を通して会員企業へのマネジメントシステム等の最新情報の提供や事業の啓発及び拡大に努める。

（マネジメントシステム委員会委員長 畔柳 耕一）